

東地協発第 12 号
2022 年 1 月 12 日

お得意様各位

東京地区生コンクリート協同組合
理事長 齋藤 昇一



拝啓 頌春の候 貴社いよいよご隆盛のこととお慶び申し上げます。また、平素は弊協組運営に
格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。 さて、

生コン価格の値上げについて(お願い)

現行の生コン価格につきましては、2020 年 4 月 1 日以降、骨材における品代並びに輸送費、
生コン輸送費、働き方改革への対応、更にセメント既値上げ分等のコストアップを背景に価格改
定をお願い申し上げ、お得意様各位のご理解ご協力を賜り今日に至っております。

この間、原材料費・生コン輸送費並びに産業廃棄物処理費は、価格上昇を続け、2021 年 8 月
に組合員に対し原材料等価格動向調査を実施したところ、2021 年度において生コン 1 m³あたり
1,000 円程度のコストアップが報告されました。これらのコストは、現在の社会情勢やおかれた事
業環境を考慮すると今後ともある期間においては、継続的に上昇していくものと考えられます。

また、2022 年に入りセメントの大幅値上げをはじめとして、原材料や物流等のコスト高騰を背
景に混和剤やパッチャープラント部品の価格改定等も実行されることとなり、生コンプラントの負
担は、益々増大していくことは確実といえます。

一方、弊協組エリアは、大型物件が多いため工期が長期に亘ることや契約残も年間出荷数量を
上回る水準にあることから、これまでも新価格(新契番)物件への移行には長い時間を要しており
ました。このため、諸費用が上昇を続ける現状におきましては、新価格(新契番)物件が本格的な
出荷に結び付く時期には、既に価格改定の効果が消失することとなってしまっております。

現時点におけるコスト上昇分に新価格(新契番)物件の本格的な出荷時期におけるコストアップを
加えた費用負担、更には生コン業における設備更新や人材確保・育成等、将来を見据えた内部留
保について、種々慎重に検討を続けて参りましたが、価格改定をお願いせざるを得ない事態とな
りました。

つきましては、下記のとおり改定いたしたく、事情ご賢察のうえ、ご理解ご了承を賜りますようお
願い申し上げます。

敬具

記

- 1, 改定額 生コン 1 m³あたり 3,000 円
- 2, 実施期日 2022 年 6 月 1 日 引合受付分より

以上